

## One week program TEXT

# 出前館バイク配達員キーポイント

～1週間の副業で時給2,000円を超えるために～

---

## <第三章>

### 【目次】

【目次】	1
3 ワンウィークプログラム	2
3-1 【1日目】 地域名を覚える	3
作業1 簡易地図の作成	3
作業2 レベル地域分けをする	5
作業3 配達加盟店の確認	7
作業4 実際に現地に行ってみる	9
3-2 【2日目】 初稼働 [目標]3件	12
作業1 出前館アプリログイン	12
作業2 オファーオーダーを取る	13
作業3 実際に配達をする	14
3-3 【3日目】 稼働2日目 [目標]4件以上	18
作業1 地域レベルテスト	18
3-4 【4日目】更に効率を上げるよう配達をする	21
3-5 【5日目】 常に2件持っている状態を意識する	23
作業1 繁忙時間とレベル地域別の表を作成します。	24
3-6 【6日目】 3件持ちをしてみる	27
3-7 【7日目】 常に3件のオーダーを持つ稼働を意識する	29

※クリックでページに飛ぶことができます。

# One Week Program

## 3 ワンウィークプログラム



ここからは本編の「1週間で時給2,000円を稼ぐ」ための実際のプログラムになります。  
基本的な作業量としては、1日4時間前後の作業量になります。

この1週間の期間の作り方はあなたにお任せします。  
本業の休みの土日の2日間を使って、4週間に渡った合計で1週間分を作っても良いですし、本業が終わった後の時間を1週間使うのでも、本業が夏休みに入ったタイミングでも良いでしょう。

しかし人間の脳の仕組み上、期間を何日か開けるよりは一気に1週間を作ってしまった方が覚えや効率は良いことはご留意下さい。

また1週間という短期間ですので、かなり濃密なスケジュールを組んでおりますことをご理解くださいませ。

そのためもし目標件数に達成しなかったとしても、期間を伸ばし、このプログラムを全てこなせるようになれば、時給2,000円は達成することはできますのでご安心くださいませ。

※また1-4 で解説した配達員の登録をして出前館からIDとPASSの発行をしてもらわなければ、このワンウィークプログラムは開始することは出来ません。

もしまだ配達員登録がまだの場合は1-4 まで戻って登録をしてからプログラムに取り組んでください。

(応募から稼働できるようになるまでは3～5日かかる場合がありますのでご注意ください。)

それでは「ワンウィークプログラム」スタートします。

# One Week Program

## 3-1 【1日目】 地域名を覚える

まずは地域の名前を覚えないと稼働ができません。  
その為に1日目は稼働前の座学になります。

### 作業1 簡易地図の作成

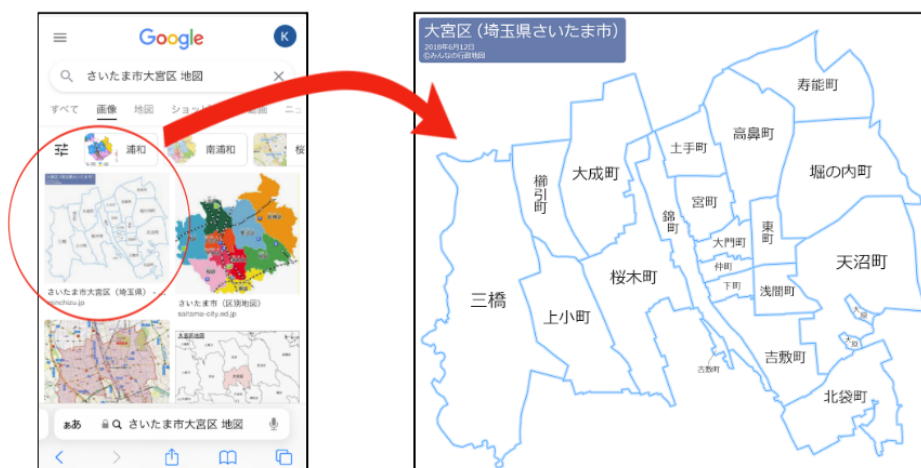
簡単に地域名を覚える為に、簡易的な地図を自分で作ります。



↑このように作ります。

#### ①見やすい地図検索

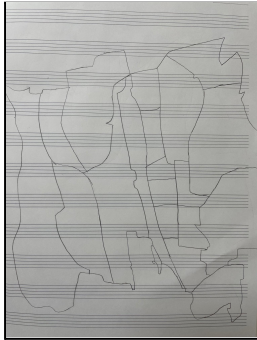
作り方は、まずweb検索エンジンに「地域の名前＋地図」というキーワードで検索をかけて、分かりやすい地図を探してください。



例えば「さいたま市大宮区 地図」で検索するのです。  
こういった分かりやすい地図をネット上で探してください。

# One Week Program

②そしてそれをご自身のB5のノートに簡単に模写します。



③その上から、地域名を記入していきます。  
(→実際の写真)

この自分のノートに書かれた地域名を覚えていきます。

地名(漢字など)	かな読み	郵便番号
以下に掲載がない場合		330-0800
東町	あずまちょう	330-0841
天沼町	あまぬまちょう	330-0834
大成町	おおなりちょう	330-0852
大原	おおはら	330-0836
上小町	かみこちょう	330-0855
吉敷町	よしきちょう	330-0843
北瀬町	きたぶくろちょう	330-0835
柳引町	くしひきちょう	330-0851
坂木町	さくらぎちょう	330-0854
下町	しもちょう	330-0844
青柳町	じゅのうちょう	330-0805
浅間町	せんげんちょう	330-0842
大門町	だいもんちょう	330-0846
高森町	たかはなちょう	330-0803

←[こちら](#)のMEMORVA(メモルヴァ)というサイトが見やすくオススメです。

まずはざっくりと「こんな地域名があるのか」程度で、主要駅の周りから覚えていくと覚えやすくなります。

そして次の作業に移ります。



# One Week Program

## 作業2 レベル地域分けをする

2-2で解説したレベル地域を作成します。

①表の枠を作成します。

まずはご自身のノートに以下の 2×5 の表を作成してください。


②地域レベルを記載します。

次に表の1段目には「最重要地域」と記入し  
2段目には「重要地域」3段目に「普通地域」  
4段目は「遠い地域」5段目は「要注意地域」と記入します。

最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	

③地域の名前を入れていきます。

そして、2-2で解説したように中心駅から一番近い地域名を「最重要地域」として入力して、その他の地域も埋めていってください。

最重要地域	大宮区錦町、宮町、大門町、仲町
重要地域	大宮区桜木町、大成町、土手町、下町
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	(大宮駅から15分以上かかる地域、一番遠くの地域など)

(※これは参考の表の為、実際に詳しくは調べてないです。あくまで参考にしてください。)

※特に要注意地域は2日目で使う為、必ず埋めてください。

地域の判断の仕方として、



# One Week Program

【最重要地域】は中心駅から**5分以内**の場所

【重要地域】は中心駅から**8分以内**、

【普通地域】は中心駅から**10分以内**、

【遠い地域】は中心駅から**10分以上15分以内**、

【要注意地域】は中心駅から**15分以上**かかる地域(つまりエリアに余っている他の地域の全て)として埋めてみて下さい。



# One Week Program

## 作業3 配達加盟店の確認

注文側の出前館サイトorアプリを使って、どんな配達加盟店があるか確認します。  
特に中心駅前の周辺や牛丼屋、ファストフード店、そしてショッピングモールの中に入っている加盟店などは必ず頭に入れてください。

①まずはこちらの[出前館サイト](#)を開きます。



②中心駅の住所を調べて入力



③中心駅の加盟店舗が表示される。



←このページの上の方に来るのがその時のフェア商品やキャンペーンを実施している店舗です。

# One Week Program



## ④店舗の住所を調べる

店舗名をタップして「店舗詳細を見る」のボタンから住所を確認して下さい。



ただし「銀のさら」「ガスト」「ピザーラ」など自社でバイク便を行っている加盟店は、オフアオーダーには入らないので覚えておくが良いです。

# One Week Program

## 作業4 実際に現地に行ってみる

レベル分けした地域に行ってみて、その地域の端から隣の地域の端まで何分かかかるか実際に測ってみます。

レベルエリアごとに時間を図るのが効率がいい為、まずは「最重要地域」から測っていきます。

①作業2で仕分けた「最重要地域」の地域をマークします。

Gマップの地図アプリに「町名」を入力すると、赤いラインで地域が表示されます。



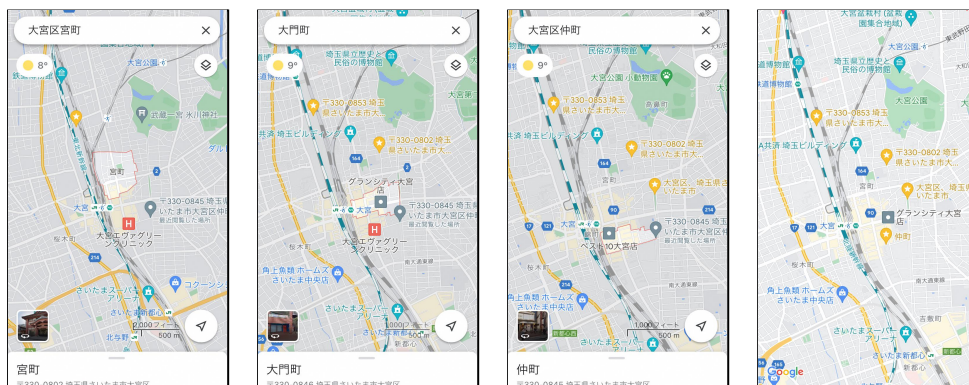
表示された地域の端(中心駅から遠いと思われる場所)をロングタップします。





# One Week Program

これらを繰り返して地域ごとのマークを付けます。



時間が許す限り、「重要地域」「普通地域」「遠い地域」「要注意地域」も同様にマークしてください。

②それぞれの地域に移動します。

レベル地域の端から端(一番離れている「マーク」から「マーク」)までどのくらいの時間がかかるか実際にバイクで走りながら測定します。



ノートにかかった時間をメモしておいてください。

同様に「普通地域」以降も一番遠いマークとマークの時間を計測してください。



# One Week Program

③行ったことのない加盟店の場所に行ってみる。

そして場所が分からないお店の場所は、完全に覚えるまでGマップのアプリに同様に保存して☆マークを付けておきます。



この星マークは配達の時にも使えますが、主に覚える為に使います。  
なのでお店の場所が覚えられたら星マークを消していき、このお店の全ての星マークが消えるまで覚える努力を怠らないようにしてください。

作業4では実際にその場所で時間計測をしたり、お店に行ってみることで地域を直接体で覚えさせることを目的としています。

移動が面倒だからと飛ばさずに、こういう地道な作業が後々の成果に繋がっていきます。

そして「**1日目の目標**」は

【地名をみただけで、どんなルートを使ってもいいのでその地域に行けるようにする事です】

なのでレベル地域ごとにあなたの知らない、行ったことのないような道や場所があるところを何よりも優先して移動してってください。

# One Week Program

## 3-2 【2日目】 初稼働 【目標】3件

実際に配達を行って、デリバリーの配達とはどういう感じが肌で直接覚えます。  
時間帯は何時でも問題ございません。

実際にデリバリーに出る前に、1-2 の持ち物確認をして、全てが揃った状態で稼働をして下さい。

また出前館に配達員登録すると「出前館専用キャップ」が自宅の住所まで届くのでそのキャップも必ず準備します。（※ただし届く時間がかかっていて、手元にない場合は必要ないです。）

### 作業1 出前館アプリログイン

稼働をする為には、まず出前館アプリのログインが必要になります。

①出前館アプリを開き、配布されたログインIDとパスワードを入力し、ログインします。



③配送手段を選択します。



この右画像の「業務中」の画面に入る事が成功すれば、オファーオーダーが通知される状態になります。

# One Week Program

## 作業2 オファーオーダーを取る

出前館アプリにログインしただけでは配達できません。  
お客様がした注文のオファーを自分で配達をする選択をして、そのオーダーを取らなければいけないのです。

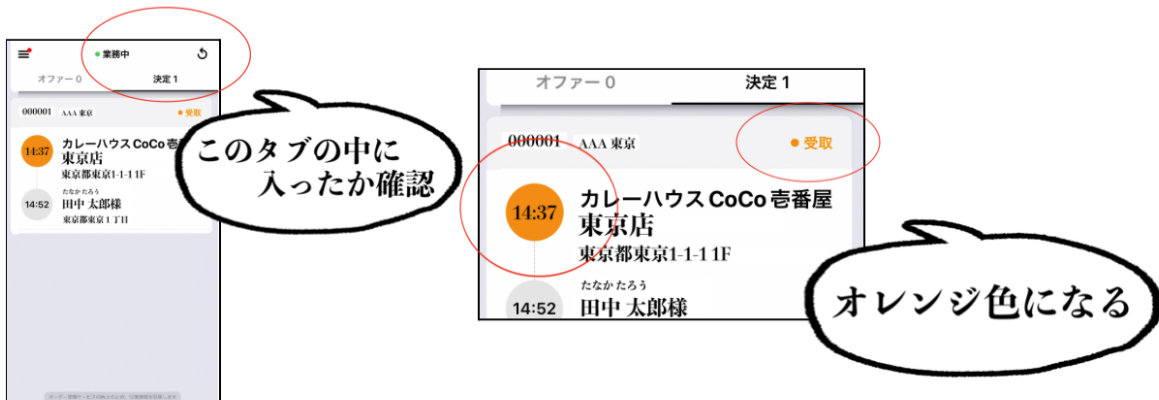
①お客様が注文をしたオファーの通知が入ったら、そのオファーをタップして選択します。



最終確認の「配送しますか?」というポップが出るので「はい」を選択する。

※この注文のオファーは「早押し」というシステムになっているため、他の配達員が自分より早くオーダーを取得してしまったら、そのオファーは消えてしまいます。

③決定タブにオーダーが移動したことを確認する。



# One Week Program

## 作業3 実際に配達をする

①まず商品を取りに行くお店を確認します。



※この時のお店の注意点の欄にも注目をして、お店ごとにあるピックルルールを必ず確認します。

②店舗通知をし、お店に行って商品を受け取ります。



※店舗通知はお店の到着時間の10分ほど前に押下します。

※必ず商品の確認をして受け取ります。

※出前館用のピックの場所がある加盟店もあるので、初めて行くお店はスタッフさんに場所や注意点の確認をした方が次の配達の時にスムーズになります。

# One Week Program

③商品を受け取ったら、アプリ内で商品受取操作をします。



③お客様のお届け先を確認します。



※出前館アプリの地図のままで住所がずれている場合があるので、配達時間に余裕があれば「住所コピー」ボタンを使いYマップの方で住所検索をし直すとより安心です。



# One Week Program

④お客様にお届けをして、配送完了をします。



これで配達は完了です。

また注文のオファーを取るところから、上記の①～④を繰り返して最低3件を配達して配達の流れを覚えます。

この1日目は「お届け」時間以内に間に合うオファーオーダーを選択して下さい。

なので確実に1件の配達が完了したら次の注文を取るようになります。

まずは配達時間内に配達できるように、オファーを取るところから配達完了まで1件一時間以内の目安で、確実に正確性を重視し配達をして下さい。

(もちろん正確な配達の上で、自分なりの創意工夫をして時間を短縮できれば尚いいです。)

3-1 で作成した地域レベルの【**要注意地域**】以外を配達して下さい。

なぜなら今後、この要注意地域は一切足を踏み入れないので、地域を知る必要がないからです。ミス取得オーダー以外では配達中この地域には行かないように注意して下さい。

余裕があれば、

①忙しい時間帯の把握

②よく注文が来る店舗の把握

をする為にオファー注文が溜まっている画面のスクリーンショットを撮ることをお勧めします。



# One Week Program

## 【注意点】

※オファー注文を取ったら、拠点に電話しないとそのオーダーはキャンセル出来ないのご注意ください。

※もしもお届け時間から**20分以上**遅れそうな時はお客様にお電話をしてお時間を頂いて下さい。

## 「**2日目の目標**」は

【確実な3件以上の配達の実験】です

最初の1件目は勝手がわからず、緊張したり戸惑ったりする事があるかと思いますが、3件以上を配達してしまえばなんとなく見えてくるものがあるはずです。  
0から1件のこの配達の実験がとても大切なものになります。

わからないことや疑問点はどんどんと質問をして下さい。



# One Week Program

## 3-3 【3日目】 稼働2日目 【目標】4件以上

稼働2日目です。  
1日目よりは少し効率よく配達をしていきます。

さらに、ここから忙しい時間帯の経験をしておきましょう。  
朝から稼働できる方は11時から。  
夕方以降しか稼働できない方は17時から稼働して下さい。

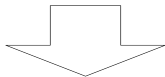
なるべく休日がいいです。

そして、今日から最終日まで稼働前に地域テストをします。  
3-1 で作成したレベル地域の表を穴抜けにして、そこを記憶して埋めていきます。

### 作業1 地域レベルテスト

以下の地域レベルを...

最重要地域	大宮区錦町、宮町、大門町、仲町
重要地域	大宮区桜木町、大成町、土手町、下町
普通地域	～(調べて下さい。)
遠い地域	(調べて下さい。)
要注意地域	(大宮駅から15分以上かかる地域、一番遠くの地域など)



最重要地域	〇〇〇〇町、〇町、〇〇町、〇町
重要地域	〇〇〇〇〇町、〇〇町、〇〇町、〇町
普通地域	〇〇〇〇、〇〇、〇〇〇、〇〇
遠い地域	〇〇、〇〇、〇〇、〇〇
要注意地域	〇〇〇〇町、〇〇、〇〇

このように穴抜けにして、テストをします。

わからなければ見ながらでもいいので、3回～5回ほどテストをして地域名をレベル地域ごとに覚えて下さい。

最初の段階で特に重要なのは【要注意地域】と【遠い地域】です。  
必ず覚えるようにして下さい。

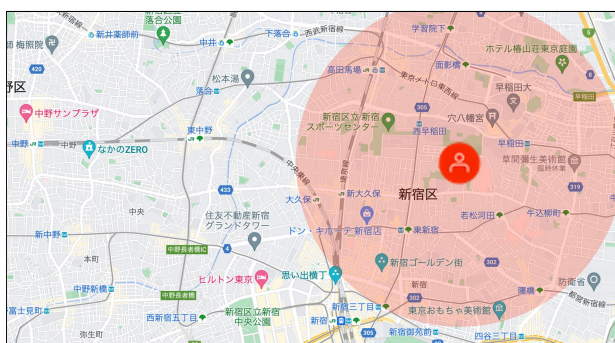
# One Week Program

※この日は前日のように1件ずつ配達をしていきますが、**配達が終わる前に次のオーダーを取っておく**ようにします。

1日目のように商品をお店に取りに行くまでは、次のオーダーは気にしなくても大丈夫です。

しかし商品を受け取ってから次のオーダーを取る為に、出前館アプリのオファー画面にして、常にオファー通知に気を配るように配達をしてください。

上手く次のオーダーを続けて取るコツは、**お届け先の地域と近くの地域のオファーオーダー**を取る事です。



←赤丸がお客様のお届け先です。  
その周りの薄赤の円あたりの店舗を次のオファーで取得するようにすると、続けて配達しやすいです。

隣接する地域名がわからない場合は  
お届け先と同じ地域名のオファーを取得するようにするか、地域レベルで書いた同行か、上の地域を取得します。

レベル地域ごとのオーダーを取れるのが効率的です。

例えば【最重要地域】で商品ピックができたのであれば、【最重要地域】でお届け先のオーダーが取ればベストです。

しかし上手くオーダーが来ない時もあります。

そんな場合は、レベル地域の段を【重要】から【普通】まで下げてみて下さい。  
つまり【遠い地域】と【要注意地域】以外のオーダーを選択するということです。

最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	

この範囲の  
オーダーを取得する

もちろん余裕があれば、地域レベルを【最重要】と【重要】までの範囲だけに絞って稼働で問題ございません。

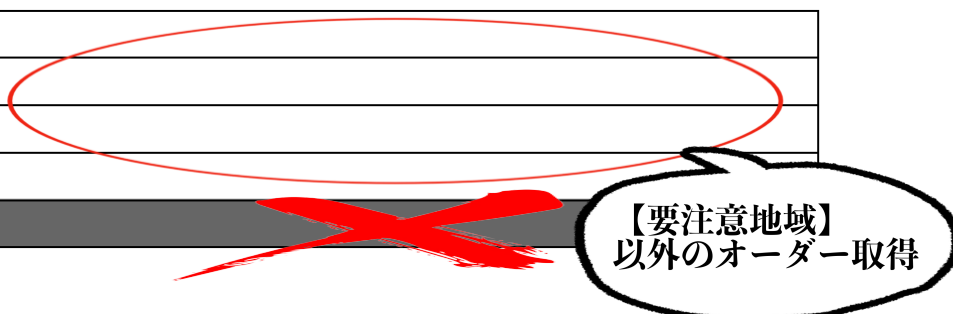
さらに心に余裕があれば、1日目と同じようにオファー注文が溜まっている画面のスクリーンショットを撮ることをお勧めします。

# One Week Program

## 【注意点】

もし配達に余裕がない場合は、絶対にとってはいけないオーダーの【要注意地域】だけ注意して稼働をしてください。

最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	



そして一件一件、確実に時間に間に合わせるように配達と安全運転をして下さい。

※ここでも、もしお届け時間から**20分以上**遅れそうな時はお客様に必ずお電話をして下さい。遅れにより焦りが生まれそうな時は、この電話をするだけでも心に余裕が生まれ、余計なミスをしなくなりますので、状況はかなり良くなります。忘れないようにしましょう。

「**3日目の目標**」は【配達の流れと確実な4件以上の配達】です。

1件あたりの目安時間は45分です。  
これはオファーオーダーの取得から配達終了までの目安時間でございます。

そして自分の持っているオーダーが途切れないように管理してみることも、今後の時給の効率アップに繋がります。  
心がけてみて下さい。

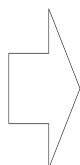
最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	

# One Week Program

## 3-4 【4日目】更に効率を上げるよう配達をする

より配達の効率を上げる為に、忙しい1時間だけは【最重要】と【重要】の地域にこだわってオーダーを取得してみてください。

(お昼であれば12時から13時、夜であれば19時以降)



最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	

この地域だけ取得

ただし10分以上、注文の通知が鳴らなかったり、オーダーが少ない場合は【普通】の地域も範囲に入れてみて下さい。

そして【遠い地域】と【要注意地域】は最新の注意を払って、絶対に取らないように心掛けてください。

オファーの通知が来たらまずは、店舗の住所とお届け先の住所を確認して「取るオーダー」「取らないオーダー」を頭で反射的に仕分けていくイメージです。

3日目のように常に1件以上は自分のオーダーを持っている意識をして稼働します。  
さらに商品を同時に**2件受け取ることが出来るオーダー**があれば「2件同時ピック」(商品を2件同時に受け取る事)も視野に入れて、オファーオーダーを管理して下さい。

この**2件同時のピック**が出来るか出来ないかで、その日の配達効率は天と地ほどの差が生まれます。(ダブルピックと言います。)

2件同時のピックをする場合は、1件目のピック場所と同じ地域か、その隣接する地域のピック先＋お届け先が地域レベル1段以内のオーダーにします。



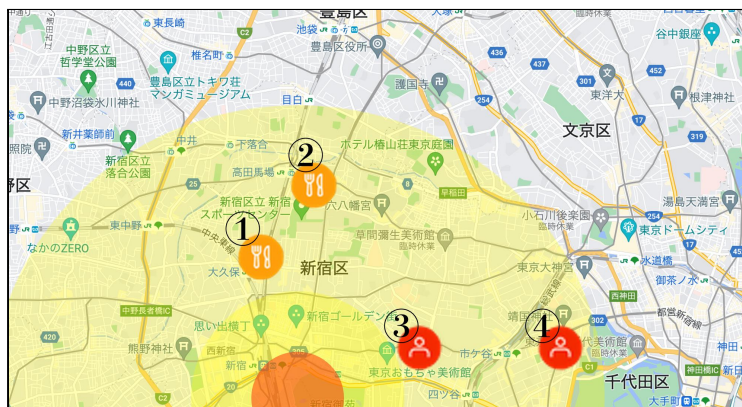
最重要地域	
重要地域	
普通地域	
遠い地域	
要注意地域	

近い範囲でのお届け

つまり近いところでダブルピックをして、近い範囲のお届けじゃないと時間に間に合わないですよ。ということです。



# One Week Program



←商品のピック先も近く  
お届け先も黄色の地域レベルの範囲内で収まっている。

①②の順番で商品をピック(受け取り)し  
③④の順でお客様にお届けする。  
※但し、お届けは時間順で良い

※また1件目のお届け先が、2件目のピック先よりも近い場合は1件目のお届けを優先にしてください。2件同時にこだわりすぎず、一件一件確実な配達を心掛けてください。



←①でピックして②でお届けし、③でピックして④でお届けした方が効率的。

要は近いところを優先に配達をするという事です。

もちろん、この日の稼働前にも忘れずに「地域レベルテスト」で地名を覚えてから稼働をして下さい。

「**4日目の目標**」は  
【配達の実確な慣れと6件以上の配達】です。

1日目にあった緊張や不慣れさはもう完全に取り払い、**プロ意識**を持って配達をして下さい。  
この「意識」があなたの効率を上げていくのです。

さらにこの日は6件以上の配達完了目標で、1件あたり30分で完了させるように意識をしてみてください。  
ちなみに30分で一件完了させる事ができたら、一時間で2件のオーダーをこなせるということで時給は「1,430円」です。

この辺りから他のデリバリーバイトよりも良い時給になってきますので、やる気も上がってくるはずですよ。

さらに効率を求める事ができれば、やる気も稼ぎも相乗効果になります。  
頑張って配達をしましょう。



# One Week Program

## 3-5 【5日目】 常に2件持っている状態を意識する

1件目のオーダーを配達している最中に、次のオーダーがある状態にします。

その為にまずはオファーの通知が来たら、即座にバイクを停車させその内容を確認します。

その内容が

- ①2件ピック(ダブルピック)ができるオーダー
  - ②1件配達後に2件目のピック時間に間に合うオーダー
- であれば迷いなく取得します。

①は4日目に行った意識と同じです。

この同時ピックはかなり効率が上がりますので積極的に狙っていきましょう。

②は商品ピックから配達完了までの時間がある程度、肌身で把握しなければなりません。

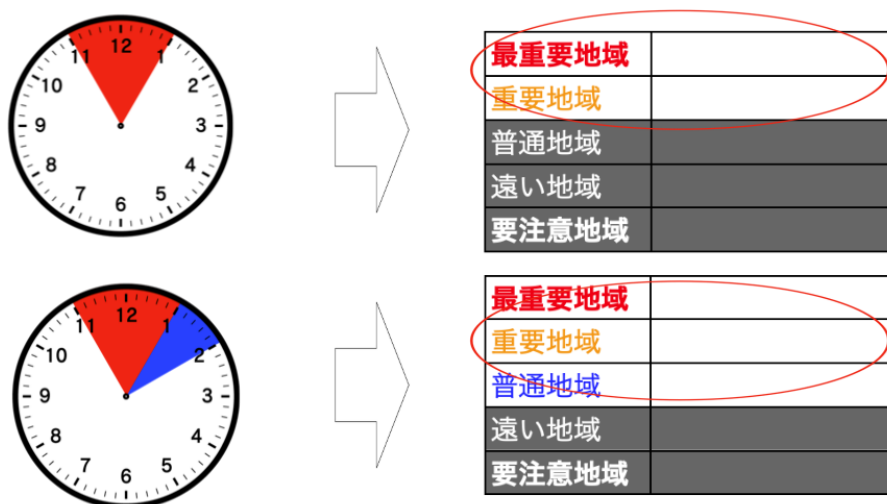
そのため、地域レベルごとの配達時間や道の混雑状況による遅れなども考慮してオファーを取っていくようにします。

こちらのオファーオーダーに関しては、初めのうちは「勘」やある程度の「慣れ」が必要になりますので**挑戦心を持って**2件目のオファーを取ることにします。

その為、時間を良くみて「20分以上」の遅れではなく、「お届け時間」に遅れそうな時点でお客様に架電をすることが焦らないで配達ができるコツになります。

また時間別に、レベル地域ごとにオーダーの取得範囲を調節することも効率を上げるポイントです。

具体的には「忙しい時間」は【最重要】と【重要】の地域のみ、「普通の時間」は【普通地域】まで範囲を広げることです。



よって2-4 で解説した【繁忙地域レベル表】を作成する必要があります。

# One Week Program

作業1 繁忙時間とレベル地域別の表を作成します。

2-4 で解説した以下の表を作成します。

地域レベル	地域名	繁忙レベル	時間
最重要地域	大宮区錦町、宮町、大門町、仲町	①忙しい	12~13、18~21
重要地域	大宮区桜木町、大成町、土手町、下町	〃	〃
普通地域	大宮区上小町、高鼻町、東町など...	②普通	11~12、13~15、17~18

①地域レベルの表の横に【繁忙レベル】と【その時間】を表に追加して下さい。

時間に関して、この表の時間は私の地域での忙しい時間でございます。  
参考にしても問題ございませんが、ご自身の地域ごとの時間を自分で調べるのが一番正確な情報になります。

また、この繁忙時間は「地域」「時期」「出前館キャンペーン」「世間情勢」などで常に変化していきます。

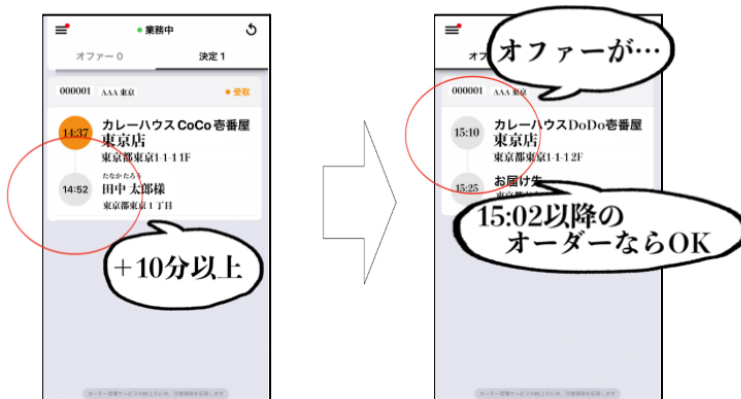
常にこの情報を更新できるように、稼働しながら何時頃が**オファーが多いか**肌で感じるように意識を怠らないようにして下さい。

そしてこの表をあなたの頭の中に入れ、時間と地域を参考にしながら2件目のオーダーオファーを仕分けて取得していきます。

また2件持ちをしていくと1件目の時間と、2件目の時間がどうしてもぐちゃぐちゃになって変な時間のオーダーを取ってしまったたり、キツキツのものを取ってしまったたりという事が起こります。

なので2件目のオーダー時間を管理する方法の1つの目安として、1件目の「お届け時間」から10分前後の空きがある「ピック時間」のオーダーを取ることをお勧めします。

例えば、1件目のお届け時間が「14:52」だとしたら、2件目のピック時間が「15:02」以降のオーダーということです。



# One Week Program

もちろん地域レベルが離れすぎていたらこれは使えないのですが、普通レベル地域以内(最重要と重要な地域のみ)のオーダー範囲であれば使えるはずです。

なぜなら最重要と重要地域は、配達時間を中心駅から8分以内に設定しているはずなので、地域の端から端でない限り、大体10分以内には行く事が出来るからです。

しかしこういった時間を計算して考えている時間がない状況であれば、お届け時間から次のピックアップまで15分以降の空きがあれば間違いなく間に合うので、時間計算に不安が残る方は**15分以上**を目安に2件目オファーを取って下さい。

(※最重要地域と重要地域の配達場所のオーダーに限る)

また更なる効率アップのために、選択する配達ルートも意識を変えていきます。  
なるべく**裏道**を意識して配達のルートを組み立てて下さい。

その為に稼働前に裏道を見つけておくのです。  
良く混む道(渋滞の道)はすでに、今までの配達で自然となんとなく把握できているはずです。  
その混む道を回避するための道を見つけるのです。

地図上では少し遠回りになる道だけど、実際には渋滞と信号の回避によって時間を短縮できるような道を見つけます。



また**一方通行の道**はワープルートとしてとても優秀で使えますので、必ず把握しておくようにしましょう。



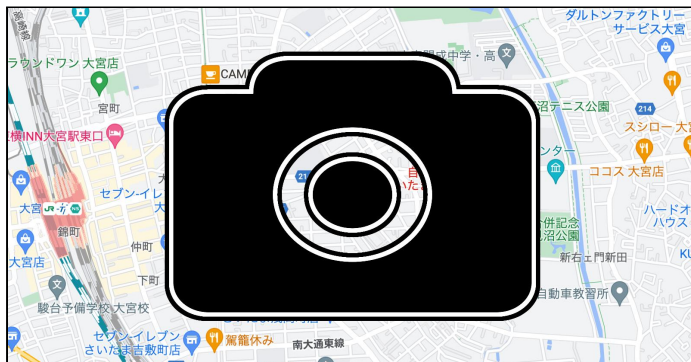
# One Week Program

この裏道の見つけ方は、アプリのマップを見ながら行います。

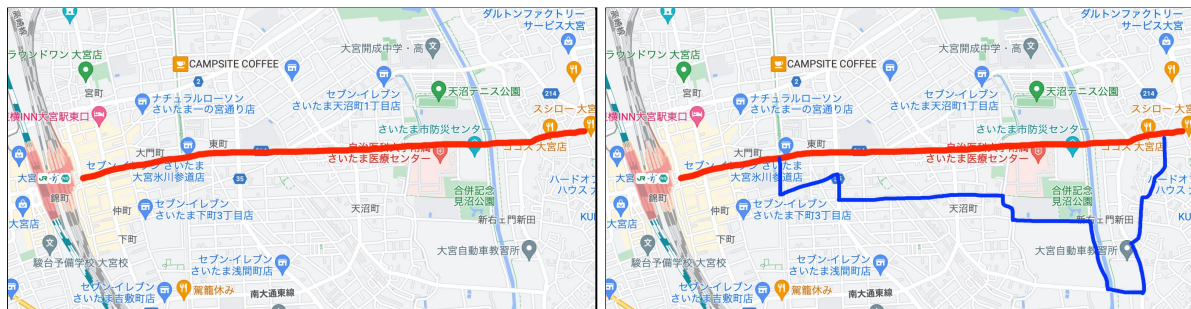
①まず渋滞する道を開きます。



②この道のスクリーンショットを撮影します。



③そして画像編集のペン機能でそれぞれの道をなぞります。



渋滞道→赤ペン、それを回避する裏道→青ペン

このようにまずは画像で道を把握して、実際にその道を使いながら覚えていくようにします。

裏道を使いこなすことができれば、さらなる件持ちをこなせるようになります。  
必ず意識しましょう。

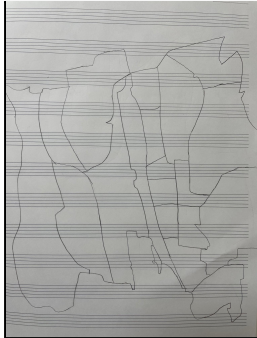
## 【5日目の注意点】

2件持ちの意識にいすぎると、焦りや緊張が高まってきて、フードのこぼしやルート間違え、交通違反などの原因になってくるのでなるべくリラックスをしながら、配達をするように心掛けて下さい。

# One Week Program

もしも遅れそうなのであれば、電話をすれば寛容に待ってくれるお客様がほとんどです。  
時給アップの経験だと思って、色々なことに無理をしすぎないように挑戦をしてみましょう。  
※稼働前に必ず地域レベルテストを行って、地域を暗記できるようにしましょう。

またもし地域を既に暗記できている場合、さらに地域を覚える為に3-1 の作業1 で作成した、簡易地図のテストも行ってみて下さい。こちらは地域の場所を覚える為に行うテストです。



←この地名がない状態で  
地名を入れていくテストです。

**「5日目の目標」**は  
【常に2件持ち意識と7件以上の配達】です。

2件持ちの為のオファー通知に常に意識を向けることは、この先の更なる時給を上げることに必要不可欠なことなので、今日からその意識を向けていくようにしましょう。

そして1件25分前後の目安時間で配達終了を意識していきましょう。

# One Week Program

## 3-6 【6日目】 3件持ちをしてみる

2件持ちが順調にできていれば、3件持ちはその延長上にあります。

### ①3件同時ピック

ピック場所が同じ地域のオーダーを2件持っている時に、同じ地域のオファーが来たらそれを取  
得します。

この時の注意点は1件目の配達時間です。

1件目のピック時間ギリギリでピックをしては、3件目のオーダー取得は難しくなります。

3件の同時ピックオーダーを取得する場合は

必ず1件目のピック時間より早く商品をピックする必要があります。

なぜなら出前館のお届け時間の設定がピック時間+15分になっているため、お届けがギリギリ  
かもしくは遅配になってしまう可能性が高いからです。(遠い地域は20分設定)

例えば商品ピックの時間が12:25のものはお届け時間が12:40という設定になっているのです。

よって1件目が12:25のピック時間の場合、それよりも早く行ける時(ベストは10分以上早く)に限  
り3件同時ピックを考えてオーダーを取得するようにします。

さらに配達地域レベルも【最重要】のみのオーダーに限らせます。

慣れてくれば、他の地域でも3件同時オーダーを受ける事は可能ですが、それはあくまでも地域  
と裏道を完全に把握し、配達にも余裕を持ってオファーを受けられるか判断ができる経験値が溜  
まった場合です。

【最重要地域】のみのオーダーであれば、比較的経験に関係がなく3件持ちを達成させる事がで  
きるのです。

ただしこの【最重要地域】のオーダーは激戦区になっている場合がほとんどで、オファーの**早押  
し**ができないとオーダーを取ることはできません。

そのためには常に画面を出前館アプリのオファー画面にしておき、付けているイヤホンから通  
知音がなったら直ちに、停車をしてオファーオーダーの確認をして、即座に取るべきオーダーか  
判断をする必要があります。

この早押しには慣れもありますが、忙しい時間帯であれば良いオーダーも残ってくる場合があり  
ますので、諦めない精神が大切になります。

そしてこの早押しには「場所だけを見て、時間をあまり気にしない」でオーダーを取得する場合も  
あります。

最重要の地域だけの配達であれば、3件とも20分以上もかからないからです。

つまりは**10分程度の遅配**も覚悟の上でオファーオーダーを取得していくのです。

さらにはオファーオーダーが溜まっている状態では、出前館の時間設定にそんなに時間が厳しい  
オーダーがなくなる為です。



# One Week Program

出前館はオーダーが全然なく暇な時は、オファーから25分でお届けのようなオーダーもありますが、オファーが捌ききれず忙しい状態であれば、オファーから1時間ほどの時間を設定する時もあるのです。

そして出前館公式では**20分以上の遅れで架電**とOJTサイトにしっかりと明記をしております。裏を返せば、10分程度の遅れは許容範囲だということにも捉えられます。ちなみ私のエリアの拠点担当に問い合わせたところ、10分程度は許容範囲だと明言しておりました。

しかしながら、ピック時の料理待ちの時間などで、少しでも遅れる事がわかった場合は架電をしてあげた方がお客様に対して親切ですし、クレームなどのトラブルも少なくなることをご注意くださいませ。

※稼働前に地域レベルテストと5日目に記載した簡易地図テストを行って、レベル地域ごとの名前と、場所を忘れずに暗記して下さい。

「**6日目の目標**」は【常に2件持ちの上で3件目にも挑戦してみると8件以上の配達】です。

1件あたりの配達目安は25分以内に挑戦してみてください。  
ただし3件持ちを目指しながら配達をする事ができれば、必然的にこの目安時間を上回るようになるはずです。

意識としては1件あたりの時間を気にするよりも、2件以上のオーダーを持つことに意識を割いて稼働をして下さい。

さらに暇な時間帯も活動エリアを広げ、持っているオーダーが1件以下(待機時間)の時間を完全に0にすることを目標にしてください。  
オファーの入り具合によって柔軟に地域レベルエリアを広げたり、狭めたりすることで効率を上げていくのです。

裏道もどんどんと見つけて使っていって下さい。  
一方通行の道を効果的に使うのです。

# One Week Program

## 3-7 【7日目】 常に3件のオーダーを持つ稼働を意識する

常に3件のオーダーを獲得するように出前館アプリに全集中をして下さい。  
もし3件以下なら早押しをして良い案件を取ります。

今までやってきたことの集大成の日です。

お届け先には常に裏道を意識して、ピックアップ先(初めてのところ以外)のお店には何も見ずに行く事ができ、常に出前館アプリでオファーのことに意識を持っています。

待機時間は0にして、忙しい時間帯は【最重要】の地域のみのおオーダーを取っていきます。

もしこのテキスト内のことで完全に覚えきれないところや、目標達成が出来なかった日があれば、もう一度読み直してみてください。

一度ではわからないところでも二度、三度と読み直していく事で理解できることも多くあります。

さらに、ここまでのわからない事や、不安な事、疑問点などは疑問のままにせず、必ず質問をするようにして下さい。

どんな些細なことでも構いません。お気軽にお問い合わせ下さい。

「**7日目の目標**」は  
【3件持ちと9件以上の配達】です。

この日の1件あたりの目標は20分以内です。

この目標が達成されれば必然と1時間で3件の配達が可能になり、時給が2,145円になります。

この目標達成の難易度はエリアごとに異なりますが、以下のサイトによると出前館のドライバーの10人中7人は時給2,000を突破しているらしいので、多くの人が達成する事ができる目標であることとなります。

ちなみに、この確率は

「女性が男性に告白して成功する」確率と同じになります。

これをどう受け取るかはあなた次第ですが、一般的に見た物事の達成のしやすさは優しい方に入るはずです。

しかし男性側の私からすれば、  
女性からの告白を振った残りの30%の方が気になります...

